

校章制定の由来

本校の校章は、地元の日本画家 関根将雄画伯に依頼し、図案を画
いていただいたものです。

「太田道灌ゆかりの『山吹』の古事に依り、中央に大きくその花瓣
を置き、その両端より上部に向かう葉は『中』を囲む。即ち、城北に
学ぶ生徒の^つ盡きざる伸展・友好を^{ひょうちょう}表徴したるものなり」という意図
で、校章が制定されました。

(昭和 46 年 11 月 8 日制定)

校歌制定の由来

本校の校歌は、地元の日本画家 関根将雄画伯の紹介で、浦和市在
住の詩人 榎 皓志氏に作詞を依頼し、作曲は、初代校長 田島輝夫
先生の知人、埼玉大学教育学部音楽科教授 折山俊也 先生に依頼
して創られました。

歌詞は、四季を歌い、知・情・意を織り込み、白鶴城の伝統と若々
しい生徒の羽ばたきを未来の成長につなげようという情想で作られ
ました。曲は、歌詞と中学生の心情に合った軽快でしかも情緒豊かな
ものです。

(昭和 47 年 1 月 10 日制定)